

臨床運動器【Stage 1】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

- (1) 骨・関節・筋肉などの運動器疾患の基礎的知識を習得する。
- (2) 病歴・所見より考えられる疾患鑑別の能力を養う。
- (3) 疾患を理解した上での治療法の選択を考える。
- (4) 患者さんへの対応、病状説明や承諾を得る方法を習得する。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

- (1) 病棟での症例受け持ち、担当症例についての考察
- (2) 回診、病棟での処置
- (3) ギプス包帯固定などの手技体験
- (4) 手術見学
- (5) 術前・術後のカンファレンス
- (6) X線カンファレンス
- (7) 外来診察（ポリクリ）
- (8) 抄読会
- (9) 病理組織像の検討

3. 実習上の注意事項

- (1) 機能解剖学と授業で習ったことを復習して実習に臨むこと。
- (2) 授業ノートと教科書を持参すること。
- (3) 集合時間を厳守すること。
- (4) 患者さんとの対話能力を養うこと。
- (5) 可能な限り時間を見つけ病室を訪れ患者さんと接すること。

4. 「医学生の実習における医行為と水準」の例示

- (1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき
全身の診察、バイタルサインチェック、創消毒、包帯交換、縫合、抜糸、ギプス巻き助手、ギプスカット、注射（皮内・皮下・筋肉・静脈）、手術助手（人工関節以外）
- (2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される
関節穿刺、神経ブロック注射、脊髄くも膜下穿刺、人工関節手術助手、病状説明（患者・家族）

【スケジュール】第1週

	7:00	8:00	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
月		オリエンテーション 朝カンファ		手術見学 外来実習				ミエログラフィー見学 病棟実習 手術見学 レクチャー				
火		朝カンファ		手術見学 病棟実習				手術見学 病棟実習				
水		朝カンファ		外来実習 手術見学				手術見学 病棟実習 レクチャー				
木	術前 検討会	教授回診		手術見学 病棟実習				縫合実習 病棟実習 レクチャー				
金			学外実習① (集合時間、場所はオリエンテーション時に説明)									

第2週

	7:00	8:00	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
月		朝カンファ		外来実習 手術見学				手術見学 病棟実習 レクチャー				
火		朝カンファ		手術見学 病棟実習				手術見学 病棟実習				
水		朝カンファ		外来実習 手術見学				手術見学 ギブス実習 レクチャー				
木	術前 検討会	教授回診		手術見学 病棟実習				レクチャー	総括(担当症例について)			
金			学外実習② (集合時間、場所はオリエンテーション時に説明)									

第1週の月曜：8:00 カンファレンス室集合、火・水・金曜：8:00 2階新病棟集合、
木曜：7:00 リハビリテーション室集合
レクチャーはカンファ室集合